

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	学校法人 立山学園 なかまの森こども園
------	------------------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和3年3月17日

③事業者情報

名 称：学校法人 立山学園 なかまの森こども園	種 別：保育所型認定こども園
代表者氏名：理事長 立山貴史	定員（利用人数） 105名（97名）
所在地：〒870-0271 大分市角子原1丁目9-21	
TEL：097-521-5550	

④総評

◇評価の高い点

【理念、基本方針が明文化され周知が図られている。】

ホームページ等に記載されているコンセプトブックからは、学校法人立山学園の実施する保育の内容や特性（6つのコンセプト）、使命や目指す方向、考え方を十分読み取ることができる。理念、保育目標等を重要事項説明書、入園のしおり、パンフレット等に掲載している。新採用職員には採用前合同研修及びOJTで、既存職員には誉める保育研修等を通じて周知・習熟させている。保護者等には入園前全体説明会・個人面談及び保護者説明会・個人面談で周知している。

【総合的な人事管理が行われている。】

法人（保育所）の理念にもとづき、「誉める保育を日常実行出来る」職員を「期待する職員像」としている。職員は「職員心得」「よき保育者となるために」を基本に、理事長、統括園長、ブロック長、園長、副園長が協議して、法人の保育理念・保育目標の実現を念頭に、グループ園内の異動を含めて人事管理が行われている。

【子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。】

子どもを尊重した保育に関する基本姿勢は「職員の心得」に標準的な実施方法として文書化している。基本的人権への配慮について、振り返りカード、虐待防止チェックシートにより定期的に状況把握、評価を行っている。法人は、発達の異なる一人ひとりの子ども全員が、遊びを通じて今を幸せに心豊かに生きることが理念として、目指す保育の具体的な事例や考え方を、研修や職員会議の場において職員に周知する取組を行っている。

【一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。】

「ほめる保育」を実践し、子どものやる気を引き出している。子どもの発達を年齢など大きな括りで判断するのではなく、子どもの24時間の生活の流れを意識して午睡

時間も子どものペースに合わせるなど一人ひとりの姿を考慮したうえで適切な関わりを行っている。

【保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。】

保護者と面談をする日を設けており、日々の子どもの成長や様子を伝え、情報を共有している。その際には保護者の意向も尊重し、延長保育など状況に応じた利用料金の情報提供も行っている。また保護者支援の観点から土曜日も7時から20時まで利用可能な体制も整えている。

【保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。】

振り返りシートを用いて自己評価を行うほか、週案や月案でその日や月の振り返りを行い日々改善に努めている。

◇改善を求められる点

【職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。】

理念・基本方針等を踏まえた、全体目標は明確にされていることから、そのうえで、部門（チーム）、職員一人ひとりの目標設定に向けた取組を期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

受審し、得た気づきや見えてきた課題の改善に向けて今後一層、職員一同福祉サービスの向上に取り組んでまいります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）